| 講義名 | 教養特講Ⅰ（観光学へのいざない） | | | | 授業形態 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 山川　拓也／伊賀　尚武／上仲　淳／河辺　有希生／金　承珠／道前　美佐緒／西村 典芳／濵田　実／藤原　喜美子／山本　勝巳／蘭　梅 | 開講期・曜日・時限 | 前期 月曜日 ４時限 | | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | １年生 | ナンバリング・コード | FYE101 |

## 主題と概要

本科目は、「気づきのプログラム」を受講した学生に対して、以降の専門科目学修への誘いを意図するもので、次の段階に向けてのスタートラインに位置づけられるものである。

学修上の到達目標は「観光学の学修意欲の醸成」および「好奇心の発露」とする。具体的には、「観光」の活動とその周辺事象／「観光」に関連するビジネスや職業（旅行業、航空業、ブライダル業、宿泊業、イベント業、公務員など）への理解／必要な教養・語学の習得など、本学科での学修事項に対する興味・関心を引き出すことに配慮する。

なお、本科目は、観光学科所属の全教員による「オムニバス形式でのリレー講義」として実施される。

## 到達目標

ツーリズムならびに関連する周辺事象、その背景にあるものに対する好奇心の発露が生じ、それらに対峙するための学修意欲をもつことができるようになる。

## 提出課題

各回担当教員により、講義後の課題提出を義務づける。（内容については担当教員から個別に説明する）

## 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題に対する講評・解説等のフィードバック方法については、各回の担当教員から個別に周知される。

## 評価の基準

下記による総合評価とする。

担当教員による各回評価の累積：１００％
（受講や課題に対する各回の教員評価を持ち寄り、それを総合して判断・決定する）

＊毎回の出席確認は、responやマークシート等を用いて厳格に実施する。

＊教員が指示する課題の提出がない場合、課題に対する得点は０（ゼロ）点となり、評価に影響を及ぼす。

＊遅刻・早退（時間の長短を問わない）は、１回につき0.5回の欠席として算入する。

＊累積の欠席回数が５回以上になった場合、評価を受ける資格がなくなる。（失格/E）

＊スマホ等の電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語や睡眠の継続、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。

＊提出課題の内容が優れる場合、一定基準のもとで加点する。

## 履修にあたっての注意・助言他

本科目は、学部・学科における専門科目の学修に向けての誘い・入口であるとともに、学生が自身のキャリアを考えるにあたっての一助になることも意図されている。重要度の高い導入科目であるがゆえ、その意義を十分に理解して受講に臨むことを切に期待する。

## 教科書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| .使用しない. | | | | |
| | | | | |

## 参考図書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| .なし. | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

## その他

プリント資料：毎回の授業時に資料類があれば配布し、基本的にパワーポイントを用いて授業を実施する。
（講義に関する連絡・案内等は基本的に大学のシステムから行われるため、操作方法を覚えて確認を怠らないようにすること）

## 授業計画

(1)【ガイダンス】（山川）：『観光学科で何を学ぶのか―現代ツーリズムを理解する多様で学際的な視点』
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(2)【観光と余暇】（西村）：余暇活動に対する需要増大と意識変化の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(3)【観光と空間】（伊賀）：寛ぎとワクワク感のある宿泊空間の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(4)【観光と移動】（濵田）：交通機関の歴史と各輸送事業の特性の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(5)【観光と地域文化】（藤原）：地域における町並みの特色や魅力の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(6)【観光と異文化交流・異文化理解】（蘭）：観光のグローバル化の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(7)【観光とホスピタリティ】（道前）：「ホスピタリティ」の概念に関する話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(8)【観光と日本語の待遇表現】（上仲）：敬語の正しい使い方の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(9)【観光とコミュニケーション(1)】（山本）：国際的な言語である英語の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(10)【観光とコミュニケーション(2)】（濵田）：観光現場で使う実務英語の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(11)【観光と現代社会】（山川）：消費に関するトレンドの変化やSDGsの話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(12)【観光とデータ分析】（河辺）：行政による各種の観光統計データの話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(13)【観光と社会政策】（金）：神戸市の具体的な政策・施策の話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(14)【観光と地域活性】（金）：日本の温泉地域コミュニティの話から、主題について概観・考察する。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）
(15)【まとめと総括】（山川）：観光学科で学ぶ意義と重要性を再確認し、後期の履修に向けて準備を始める。
予習内容：授業内容について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分）
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）

## 授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ア：PBL（課題解決型学習） | | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| | ウ：ディスカッション、ディベート | | エ：グループワーク |
| | オ：プレゼンテーション | | カ：実習、フィールドワーク |
| | キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | | |

## 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学科では、卒業認定・学位授与の方針として、観光学科の学生が卒業時に共通して身に付けておくべき能力（観光事業の仕組みや経営構造を把握・理解する思考力、顧客満足を得るために必要なホスピタリティとコミュニケーション力、課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と提案力）を示し、その涵養によって観光業界で就業できるようにすることを目指している。本科目は、観光学科における全ての専門的な学修の入口に位置づけられるものであり、本学科のみならず本学ならびに学部が定める卒業認定・学位授与の方針とも密に関連する。

## 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・毎回の授業後に実施する学修課題への取り組みにおいて、responやLMS（Campus-Xs）を活用する。

・必要に応じて授業中でもrespon等を使用し、意見収集等を行うことがある。

## 実務経験の有無及び活用

【西村】旅行会社の経営に携わり、心身の健康のための新しいツーリズム「ヘルスツーリズム」を研究し、地域の健康づくりを通じて活性化の手伝いをしている。

【濵田】航空会社での勤務（旅客・物流）を経験しており、運輸機関の全体の発展とエアラインビジネス戦略等を紹介し、観光産業における交通機関の果たすべき役割を考察する機会を提示する。

【伊賀】外資系ホテルでの営業とマーケティング経験を有する。宿泊施設の付加価値創造とブランディングによる顧客づくりについて共に研究していきたい。

【山川】旅行業での経験（欧州を中心とする海外旅行商品の企画造成、営業、添乗、マーケティング戦略策定、海外駐在等）と研究知見を合わせ、「観光を消費すること」について考える機会を提供する。

【道前】ブライダルコンサルタントおよび婚礼研究者としての経験と知見をもとに、ホスピタリティに関する学生の学修意欲に応える。

## 備考

・観光学科の全教員（11名）で科目を運営する。伊賀 尚武／上仲 淳／河辺 有希生／金 承珠／道前 美佐緒／西村 典芳／濵田 実／藤原 喜美子／山川 拓也（主幹）／山本 勝巳／蘭 梅＜50音順＞

・科目の進捗状況等によって授業の内容や順番を変更する場合があり、その際には事前に告知する。